

(3) 安全なまちづくり

新規

災害廃棄物処理計画改定事業

6,589 千円

担当 環境整備課

災害時における災害廃棄物は、市民の生活に重大な影響を及ぼします。広島県が進める初動対応と、市の防災計画に連動した実効性の高い災害廃棄物処理計画とするよう現行の計画を改定・拡充を行います。

新規

林地崩壊対策事業

100,000 千円

担当 土木課

林地崩壊による災害の発生の予防や、拡大防止のための対策などを行います。

比作地区林地崩壊対策	80,000 千円	比作川の上流部で山腹崩壊（民地）により、河川の水があふれて道路や民家等への被害を防ぐための対策工事を行います。
大迫谷尻線林地崩壊対策	20,000 千円	市道大迫谷尻線は、大雨等により幾度となく山腹崩壊が起こり、通行止めとなっているため、その崩落を防ぐための対策工事を行います。

新規

浸水対策事業(立戸地区)

16,500 千円

担当 土木課

大雨時に発生する立戸二丁目地内の市道玖波青木線付近の浸水を緩和するため、雨水排水管の整備を行います。整備は2ヶ年で行う予定です。

新規

一般河川(水路)浚渫事業

140,000 千円

担当 土木課

河川の流下能力を確保し災害を未然に防ぐために、河川に堆積した土砂の浚渫工事を行います。

令和2年度は、市内の河川（水路）の堆積土量を調査し、優先度の高い河川（水路）の浚渫工事を行います。

消費生活相談事業

2,843 千円

担当 産業振興課

専門の相談員が架空請求，訪問販売，インターネット販売などでのトラブルやクーリングオフなどの消費生活に関する相談に応じます。

河川・水路改良保全事業(平原川河川改良)

18,000 千円

担当 土木課

河川機能の保全に努めるとともに、市内各地の水路などの補修・改良などを行います。

平原川河川改良	18,000 千円	ハローワーク横の水路改良を行います。 施工延長 L=27m
---------	--------------	----------------------------------

急傾斜地崩かい対策事業(市)

24,459 千円

担当 土木課

急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、対策工事を行います。木野地区の崩壊対策工事を引き続き行います。

急傾斜地崩かい対策事業(県)

3,875 千円

担当 監理課

県が実施する栗谷地区及び立戸地区の急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担します。

空家対策事業

2,228 千円

担当 都市計画課

空家等対策の推進に関する特別措置法の制定により，空家等対策計画の作成，変更・実施に関する協議を行うための協議会を設置し，空家等の適正管理による有効活用，老朽化等が著しい空家等の速やかな除却を促進するために，総合的な空家等対策を推進します。

新規

消防力強化事業(NET119緊急システム整備事業)

656 千円

担当 消防本部

会話が不自由な聴覚・言語に障害のある方が，スマートフォン等により，いつでも全国どこからでも音声によらない119番通報が可能なシステム（NET119）を整備します。

新規

救急救助体制充実事業(救急自動車整備事業)

45,677 千円

担当 消防本部

現在，3台の救急自動車を保有していますが，近年の出動件数の増加により車両の損耗が見受けられます。救急・救助体制充実のため，高規格救急自動車（高度救命処置用資機材含む）を防衛省からの補助金を活用し，1台を更新します。

新規

消防団資機材整備事業(積載車・防火服整備事業)

7,182 千円

担当 消防本部

消防団第6分団第1部(立戸)に積載車を整備します。また、消火活動時の安全確保のため、消防団員の防火服を整備します。

本庁舎耐震改修事業

408,500 千円

担当 総務課

築後約40年が経過し、耐震性に問題をかかえる本庁舎に防災拠点としての機能を確保するために、耐震補強等の改修工事を、平成30年度から令和2年度にかけて行っています。令和2年度に完了予定です。

防災情報等啓発促進事業(防災情報伝達強化事業)

9,958 千円

担当 危機管理課

市内に設置している防災行政無線のうち、放送が聞こえづらい区域を選定し、高性能スピーカーに更新します。

自主防災組織育成指導事業

751 千円

担当 危機管理課

認定済の地域防災リーダーを対象にステップアップ研修を行い、更なる知識や技能の習得によって活動の幅を広げることを目指します。また、引き続き新規認定者も募集し、地域防災活動の牽引役を担う人材を育成します。